

— 昭和30年頃

- 高度経済成長期時代、全国的に公害問題や都市化の影響により、環境の悪化が目立つようになる

地域のホタル保護活動

— 昭和40(1965)年

- このころから北九州市でも中村光男氏(富野中教諭→菅生中教諭)、山岡誠氏(小倉高教諭)がそれぞれ、学校のクラブ活動など、ホタルの飼育を始めた

— 昭和43(1968)年

- 全国ほたる研究会発足

— 昭和46(1971)年

- 黒川を守る会が発足し、川の清掃を始める

— 昭和47(1972)年

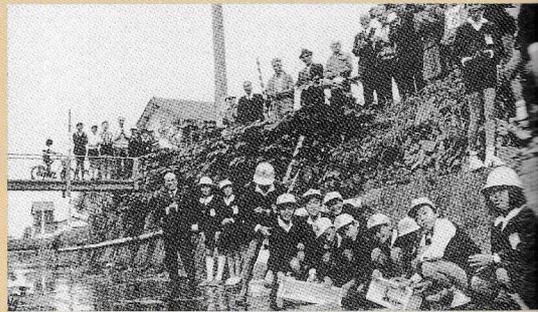
- 南丘自治会が川の清掃を始める

— 昭和54(1979)年 6月

- 北九州市の新々五カ年計画案作成において、北九州市のホタルの里づくり構想を山岡氏が提案

— 昭和54(1979)年 12月

- 中村光男氏、山岡誠氏が山岡研究室で飼育したゲンジボタルの幼虫100匹を小熊野川へ実験的に放流



— 昭和55(1980)年 5月

- 小熊野川に前年放流したホタルが20匹飛ぶ

— 昭和55(1980)年 11月

- 菅生中学生徒(中村光男教諭)、南丘小児童(瓜生英清教諭)がホタルの幼虫1,400匹を小熊野川に放流

— 昭和56(1981)年 6月

- 小倉北区熊谷町で第一回小熊野川ホタル祭りを開催、以後、毎年6月に行われている

南丘小理科室で、
左から山岡氏、中村氏、谷市長、瓜生氏

— 昭和56(1981)年 8月

- 槻田地区発展期成会に環境衛生部会が発足し、9月より川の清掃を開始

— 昭和56(1981)年 11月

- 南丘小学校中庭にホタル飼育舎できる(勝山ライオンズクラブ寄贈)



— 昭和57(1982)年 8月

- 高槻小学校ホタル飼育舎完成

— 昭和57(1982)年 9月

- 南丘コミュニティ委員会の中にホタル部会ができる

— 昭和57(1982)年 12月

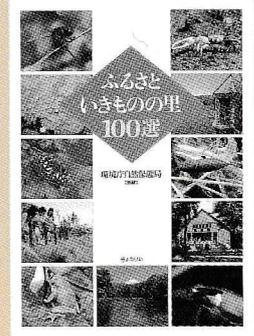
- 高槻小児童が、ホタルの幼虫3,000匹を槻田川に放流

— 昭和58(1983)年 1月

- 鞆ヶ谷小でホタルの飼育を開始

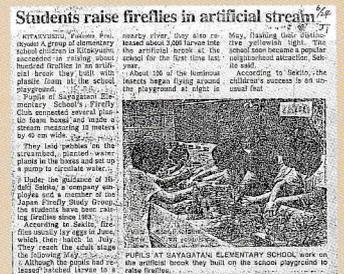
地域のホタル保護活動

- 昭和58(1983)年 3月 ● 梶田地区で第一回ホタル祭りが行われる
- 昭和58(1983)年 9月 ● 鞘ヶ谷小に体育倉庫を改修したホタル飼育舎完成
- 昭和58(1983)年 11月 ● 鞘ヶ谷小、鞘ヶ谷公民館が、天籟寺川上流にホタルの幼虫700匹を放流
- 昭和58(1983)年 12月 ● ほたるの里づくり鞘ヶ谷協議会発足
- 平成元(1989)年 1月 ● 小熊野川が環境庁より「ふるさといきもの里100選」に選ばれる
- 平成元(1989)年 11月 ● 「帆柱ケーブル駅」バス停横に帆柱山麓ホタルの里施設が完成
- 平成2(1990)年 9月 ● 鞘ヶ谷のホタル乱舞の様子が海外で報道される
- 平成3(1991)年 5月 ● 鞘ヶ谷ほたる公園で第一回鞘ヶ谷ホタル祭りが行われる
- 平成3(1991)年 10月 ● 高槻小と梶田地区発展期成会が高見小にホタルの幼虫10,000匹を提供
高見小児童が大蔵川へ放流
- 平成5(1993)年 5月 ● 香月地区で第一回黒川ほたる祭りが行われる
- 平成5(1993)年 6月 ● 小熊野川でのホタル育成活動が、国際環境自治体会議(ICLEI)によりホタルプロジェクトとして全国に紹介される
- 平成6(1994)年 6月 ● 門司区大川で第一回ほたる観賞会が行われる
- 平成7(1995)年 5月 ● 湯川小のホタル池で第一回ホタル祭りが行われる
- 平成7(1995)年 9月 ● 北九州ほたるの会発足
- 平成9(1997)年 3月 ● 小森江西小にほたるの川完成
- 平成13(2001)年 6月 ● 東谷地区で第一回ほたるの里東谷チャリティガーデンコンサートが行われる
- 平成16(2004)年 6月 ● 高槻地区で第一回たかつきほたる祭りが行われる
- 平成18(2006)年 7月 ● 岸の浦地区で第一回撥川ホタル祭りが行われる



ふるさといきもの里100選

鞘ヶ谷小 新聞で海外に紹介



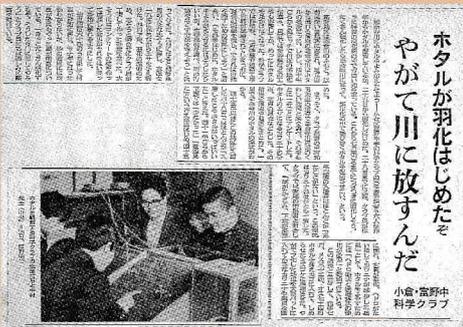


こっちの水は甘いぞ
鈴木傳

北九州市のホタル保護活動

— 昭和49(1974)年 ● 北九州市公害対策局が、水生生物による紫川の水質調査を開始

— 昭和54(1979)年 6月 ● 北九州市教育委員会より依頼され、中村光男氏と山岡誠氏が山口市の一の坂川のホタル護岸の視察に行く



富野中科学クラブ



小倉高校生物部 (写真提供 西日本新聞)



山口市一の坂川のホタル護岸

— 昭和55(1980)年 7月 ● 小熊野川でホタル護岸工事を計画

— 昭和56(1981)年 6月 ● 北九州市公害対策局が昭和49年～55年度の主要14河川の水生生物による水質調査結果を地図にまとめる



北九州市のホタル保護活動

- 昭和58(1983)年 3月 ● 槻田川のホタル護岸工事が一部完成
- 昭和59(1984)年 3月 ● 小熊野川のホタル護岸工事が完成
- 昭和60(1985)年 3月 ● 天籟寺川、延命寺川のホタル護岸工事が完成
- 昭和60(1985)年 7月 ● 北九州市公害対策局と北九州市自然史友の会が北九州市内の水生生物による水質調査を実施
- 昭和62(1987)年 7月 ● 北九州市建設局がホタル育成助成金制度を開始
- 昭和63(1988)年 12月 ● 「北九州市ルネッサンス構想」で、「水辺と緑とふれあいの国際テクノロジー都市」を目指す
- 平成 2(1990)年 6月 ● 北九州市が国連環境計画(UNEP)より環境保護と環境改善の実績を認められ「グローバル500」を受賞
- 平成 4(1992)年 4月 ● 北九州市建設局河川課にほたる係ができる
- 平成 4(1992)年 7月 ● 北九州市が環境と開発に関する国連会議(UNCED)より公害克服と環境国際協力が評価され「国連地方自治体表彰」を受賞
● ホタル保護団体、学校関係者、行政などが集まり、第一回ほたる会議を開催
- 平成 5(1993)年 10月 ● 北九州市が環境庁より「アメニティ(快適居住空間)あふれるまちづくり優良地方公共団体」として表彰を受ける
- 平成 7(1995)年 3月 ● 天籟寺川最上流に鞘ヶ谷ほたるの里が完成
- 平成 10(1998)年 6月 ● 第三十一回全国ホタル研究大会が北九州で開催される
- 平成 11(1999)年 ● (仮称)北九州ほたる館計画策定委員会発足
- 平成 14(2002)年 4月 ● 小熊野川のそばに北九州市ほたる館が開館
- 平成 14(2002)年 5月 ● ホタルと水辺環境を学ぶ市民講座「ほたる塾」を開講
- 平成 14(2002)年 7月 ● 北九州ほたるの会と共催で第一回ホタルで結ぶ日韓交流シンポジウムを開催(平成18年から国際ほたるシンポジウムを毎年開催)
- 平成 14(2002)年 8月 ● 北九州市がヨハネスブルグ・サミットで「地球サミット2002持続可能な開発賞」を受賞
- 平成 19(2007)年 5月 ● 日本一のほたるの里を目指す全国7市町が集まって2007ほたるサミット北九州を開催

